



# 第137回触媒化学研究センター談話会

---

**演 題:** XAFSで表面反応をどこまで見られるか  
現状と将来

**講演者:** 近藤 寛 助教授

東京大学大学院理学系研究科化学専攻

**日 時:** 2002年12月18日(水)  
15:00 - 16:30

**会 場:** 北海道大学触媒化学研究センター会議室  
S - 302室(理学部本館3階)

**要 旨:** 近年、XAFSを用いた動的過程の追跡が盛んに行われるようになったが、軟X線XAFSを用いて表面分子の挙動を調べる研究は大きな遅れをとっている。最近、我々は軟X線領域にエネルギー分散法を導入することによって、NEXAFSの測定速度を飛躍的に向上させ、これを用いて表面反応の実時間追跡に取り組んでいる。本講演では、具体的な実験例(Pt(111)上のCO酸化反応及び水素酸化反応)を紹介しながら、このようなアプローチによってどのようなことが分かるようになるかについてお話する。また、近い将来に見込まれている光や検出系の性能向上によって、新たにどのような表面現象に取り組むことができるようになるかについて議論する。

《連絡先》北大触媒化学研究センター 表面活性構造物性分野

朝倉 清高 (TEL & FAX 011-706-3671)

e-mail : askr@cat.hokudai.ac.jp)